

所管部課名	企画政策部 地域政策課		担当者	長沼 祐二				
事業費名称	ゴールド集落活性化事業費							
根拠法令	薩摩川内市ゴールド集落活性化事業補助金交付規則、薩摩川内市ゴールド集落活性化事業補助金交付要領							
補助経過年数	11年以上15年以下							
令和3年度 予算額	3,500千円	国県支出金	一般財源	その他	その他の内容			
		千円	3,500千円	千円				
令和2年度 予算額	5,525千円	国県支出金	一般財源	その他	その他の内容			
		千円	5,525千円	千円				
		指標名		目標値	目標年度			
成果指標①	ゴールド集落等の活性化や課題解決のための事業の数			225	令和8年度			
成果指標②	ゴールド集落に居住する住民の参加数			12,800	令和8年度			
補助対象者	ゴールド集落の活動を支援することを申し出た地区コミュニティ協議会							
補助対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールド集落の活動を支援するために直接必要となる経費 ・コミュニティセンター等の管理運営費、役員報酬等の人件費は除く。 							
補助対象事業・活動の内容	地域振興計画に基づき行うゴールド集落への支援活動							
	分類	<input type="checkbox"/> 運営補助のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 事業補助のみ		<input type="checkbox"/> 運営補助と事業補助の両方		<input type="checkbox"/> その他
補助金額又は補助率	ゴールド集落数×50,000円 (令和2年度分経過措置を含む)							
上記項目の積算方法								
補助 過を受 ける 3ヶ 年の 事業 の決 算状 況等 の	項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
		金額(円)	割合(%)	金額(円)	割合(%)	金額(円)	割合(%)	
	収入	自己資金	0		0		0	
		会費収入						
		事業収入						
		寄付金・その他助成						
		市補助金						
		(前年度繰越金)						
	計	0		0		0		
	支出	事業費						
		人件費						
		その他事務費						
		(翌年度繰越金)						
計		0		0		0		
支出計/前年度支出計								
自己資金/前年度自己資金								
翌年度繰越金/市補助金								
交付件数	44		45		43			
成果指標の推移①	145		121		115			
成果指標の推移②	8,120		6,655		6,325			
特記すべき事項等	<p>【前回評価】見直しの上で継続：補助内容の改善</p> <p>【前回評価への回答】条例改正を行い、年齢の引き上げを行った。また、ゴールド集落支援職員の育成も行い、地域活性化へ繋がるように積極的に支援し、今後も継続する。</p> <p>【事業のPR方法】広報紙、自治会運営説明会</p> <p>【費用対効果】①ゴールド集落が活性することにより、維持及び活動の活性化へ繋がる。 ②自治会再編を推進し、組織強化を行い、自立を加速させる。</p> <p>【補助事業以外の事業】自治会活動</p> <p>【その他】ゴールド集落活性化条例は、令和5年3月31日に失効し、見直しを検討する。</p>							

別紙参照

〈補助金の視点別評価〉		【主管課評価・・・A=合致、B=概ね合致、C=課題あり】	
要件	項目	評価	評価した内容についての説明
公益性	補助の対象となる事業又は補助を受ける団体等の活動が、直接又は間接に、不特定多数の市民の福祉の向上及び利益の増進に寄与している。	B	地域全体でゴールド集落を支援する仕組みとなっている。市民福祉の向上及び利益の増進に寄与している。
必要性	特定の目標・成果の達成に向けた、団体等への支援や社会的弱者の救済、地域的ハンディ等への支援が必要である。	B	地域的ハンディの克服の観点から、行政の支援が必要である。
有効性	達成しようとする目標・成果が市民ニーズに合致しており、かつ、その目標・成果の達成に向けて、適切な効果を生じている。（その目標・成果を測るための適当な効果指標の設定がなされている。）	A	地域全体の活性化とゴールド集落の市民活動の底上げになっている。
適格性及び妥当性	① 補助の対象となる事業について、行政が直接実施するよりも、行政以外の者が行う方が適当であると明確に認められる。	A	行政以外の支援は期待できない。
	② 特定の目標・成果の達成に向けて、当該補助金等の交付以外に適当な政策手段がないか、又は当該補助金等の交付が最も妥当な政策手段であると明確に認められる。	A	活動資金が不足するゴールド集落においては、補助金の交付が最も妥当な政策手段である。
	③ 補助率又は補助額が、明確な根拠によって積算されたものであり、かつ、社会経済情勢に照らし、著しく妥当性を欠く水準とはなっていない。（交付要綱の補助基準）	A	補助金交付規則に明記されている。
〈所管課による補助金等の見直し結果〉		〈行政改革推進委員会による見直しに対する意見〉	
内部評価結果	≪今後の改革の方向性≫ <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 移管・統廃合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	外部評価結果	≪視点別評価≫ 公益性 ⇒ <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 必要性 ⇒ <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 有効性 ⇒ <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 適格性・妥当性 ⇒ <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い
	≪上記方向の理由≫ 令和元年度に条例の一部改正（年齢引き上げ）を行った。しかし、周辺地域の過疎・高齢化が進む状況では、継続して支援する必要があるが、対象自治会が年々増加しており、継続しての補助金内容の見直しが必要である。		≪今後の改革の方向性≫ <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 移管・統廃合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
	≪改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画≫ 令和3年度に対象自治会等にアンケートを実施し、現行制度の在り方について、意見の確認を行い、見直しを検討する。 また、過疎・高齢化が進む自治会に対し、自治会再編を推進しながら、支援を行う。再編により、組織強化を行い、自立していくことにより、対象自治会の減少を図る。		≪まとめ≫

ゴールド集落支援地区コミュニティ協議会活動補助金

■令和2年度

NO.	地区コミ名	G集落数	特例G集落数	決定額
1	亀山	0	1	25,000
2	可愛	0	1	25,000
3	育英	0	1	25,000
4	川内	0	3	25,000
5	平佐西	0	1	25,000
6	平佐東	1	8	250,000
7	隈之城	2	5	225,000
8	永利	2	4	200,000
9	水引	5	10	330,000
10	峰山	2	6	250,000
11	滄浪	0	5	125,000
12	寄田	4	3	275,000
13	八幡	2	1	100,000
14	城上	1	0	50,000
15	陽成	2	2	150,000
16	吉川	3	1	175,000
17	湯田	3	0	150,000
18	西方	1	1	75,000
19	藤本	3	1	175,000
20	野下	2	0	100,000
21	市比野	3	2	200,000
22	樋脇	7	4	450,000
23	倉野	1	1	75,000
24	副田	0	2	50,000
25	清色	1	4	150,000
26	朝陽	1	5	175,000
27	大馬越	1	2	100,000
28	八重	1	3	125,000
29	南瀬	4	3	275,000
30	山田	0	4	20,000
31	鳥丸	1	0	50,000
32	藤川	4	2	250,000
33	黒木	2	3	175,000
34	上手	1	1	75,000
35	大村	0	1	25,000
36	轟	0	1	25,000
37	里	0	3	75,000
38	上甌	2	4	200,000
39	子岳	1	0	50,000
40	西山	2	0	100,000
41	内川内	1	0	50,000
42	青瀬	1	0	50,000
43	鹿島	0	1	25,000
合計		67	100	5,525,000

■令和元年度

NO.	地区コミ名	G集落数	決定額
1	亀山	1	50,000
2	可愛	1	50,000
3	育英	1	50,000
4	川内	3	150,000
5	平佐西	1	50,000
6	平佐東	9	450,000
7	隈之城	7	350,000
8	永利	6	300,000
9	水引	15	750,000
10	峰山	8	400,000
11	滄浪	5	250,000
12	寄田	7	350,000
13	八幡	3	150,000
14	城上	1	50,000
15	陽成	4	200,000
16	吉川	4	200,000
17	湯田	3	150,000
18	西方	2	100,000
19	藤本	4	200,000
20	野下	2	100,000
21	市比野	5	250,000
22	樋脇	11	550,000
23	倉野	2	100,000
24	副田	2	100,000
25	清色	4	200,000
26	朝陽	6	300,000
27	大馬越	4	200,000
28	八重	4	200,000
29	南瀬	7	350,000
30	山田	4	200,000
31	鳥丸	1	50,000
32	藤川	6	300,000
33	黒木	5	250,000
34	上手	2	100,000
35	大村	1	50,000
36	轟	1	50,000
37	蘭牟田	2	100,000
38	里	3	150,000
39	上甌	6	300,000
40	手打	1	50,000
41	子岳	1	50,000
42	西山	2	100,000
43	内川内	2	100,000
44	青瀬	1	50,000
45	鹿島	1	50,000
合計		171	8,550,000

■平成30年度

NO.	地区コミ名	G集落数	決定額
1	亀山	1	50,000
2	可愛	1	50,000
3	育英	1	50,000
4	川内	3	150,000
5	平佐西	1	50,000
6	平佐東	7	350,000
7	隈之城	4	200,000
8	永利	5	250,000
9	水引	16	800,000
10	峰山	8	400,000
11	滄浪	4	200,000
12	寄田	7	350,000
13	八幡	4	200,000
14	城上	1	50,000
15	陽成	3	150,000
16	吉川	4	200,000
17	湯田	3	150,000
18	西方	3	150,000
19	藤本	4	200,000
20	野下	2	100,000
21	市比野	4	200,000
22	樋脇	11	550,000
23	倉野	2	100,000
24	副田	2	100,000
25	清色	3	150,000
26	朝陽	4	200,000
27	大馬越	5	250,000
28	八重	3	150,000
29	斧淵	1	50,000
30	南瀬	7	350,000
31	山田	2	100,000
32	鳥丸	2	100,000
33	藤川	5	250,000
34	黒木	5	250,000
35	上手	1	50,000
36	大村	1	50,000
37	轟	1	50,000
38	蘭牟田	1	50,000
39	上甌	6	300,000
40	子岳	2	100,000
41	西山	2	100,000
42	内川内	2	100,000
43	青瀬	1	50,000
44	鹿島	1	50,000
合計		156	7,800,000